

ちよぼら

みんなで楽しく気軽にちよっとずつのボランティア

vol.56

URL <http://www.tachi-shakyo.or.jp>



はりねずみの会 (布絵本づくり)

活動を始めて7年。多くの布絵本を図書館に寄贈して来られ、今年度県知事より感謝状を受賞されました。受賞に際して会の皆さんからは「月2回のコツコツとした活動が積みかさなって作品が増え、自分たちも驚いています」「孫たちが喜んで遊んでいる」「みんなでつくるのが楽しい」「自分の好きなことが役に立てて幸せ」・・・などの声が聞かれました。

寄贈された作品は図書館の布絵本コーナーでご覧ください。また、布絵本作りはいつでも見学・参加できるそうです。興味のある方はぜひどうぞ。(4ページに関連記事)

01-フォトギャラリー

はりねずみの会

02-災害ボランティア入門講座報告

03-ボランティア連絡協議会だより

- ・ほっこり井戸端サロン報告
「町長と話そう! ~大刀洗町のゴミ事情~」
- ・視察研修に行ってきました
~「NPO法人 循環生活研究所」によるダンボールコンポスト~

04-私のボランティア日記

- ・表彰「はりねずみの会」
- ・災害ボランティア事前登録者募集
- ・編集後記

私にもできる!?

災害ボランティア入門講座



講師
NPO法人 リエラ
代表理事 松永 鎌矢 氏



災害ボランティア入門講座に参加して

大刀洗町老人クラブ連合会 会長 中村 昭 則

11月7日(日)ドリームセンターにて、NPO法人リエラ代表理事松永鎌矢氏による「災害ボランティア入門講座」が開催され、大刀洗中学生を含む56名の町民の方が参加されました。

講義の要点は、災害によって被災した方たちの生活復旧のために、住民同士の助け合いとしてどのような支援ができるか、災害ボランティア活動の基本について、多くを学びました。その中で感じたことを記してみます。

- ① 地縁・血縁の助け合い、行政の支援が基本であるが、被災度合いが大きく、地域で解決できないことをカバーするのが災害ボランティア。
- ② 被災者自身が前を向く暮らしの再建をサポートし、肩の力を抜いて被災した方の気持ちによりそうボランティア活動。

※被災者のニーズとしては、

- (1) 炊き出し(食べ物が欲しい)
- (2) 救援物資(断水していて飲み水が欲しい)
- (3) 泥出し・瓦礫撤去(自宅の片づけを手伝ってほしい)
- (4) 遊び場・託児所(子どもを見てほしい)
- (5) 心のケア(話を聞いてほしい)

講座を受ける前までは、災害ボランティアは瓦礫撤去等の体力が必要な活動との認識が強かったので「目から鱗」の講義内容でした。

私自身、70余歳ではありますが早速登録手続きを行いました。皆さんもぜひ登録をされてみてはいかがでしょうか。



※ボランティアセンターでは、平常時より、災害で被災された方の生活復旧を支援する「災害ボランティア事前登録」を進めています。(詳細は4ページ)



テーマ「町長と話そう! ～大刀洗町のゴミ事情～」



大刀洗町ボランティア連絡協議会 会長 福村 千代美

今年度第1回目の「ほっこり井戸端サロン」は、町長をゲストに住民課の方々の参加もいただいて、地球温暖化防止のために私たちにできることは何か、意見交換をしました。中山町長には、事前にまとめた大刀洗町のゴミ減量に関する質問書を提出していましたが、一つ一つ丁寧にご回答いただき、この大きな課題に対する町長の熱意を感じました。

ボラ連では「大刀洗町の生ゴミを0（ゼロ）に！」を目標に、ダンボールコンポストを広めようと昨年より活動を開始しています。家庭から出る可燃ごみの1/3が生ゴミで、その80%近くが水分ですので、焼却すると多くのエネルギーを必要とし多くのCO2を発生させます。

ゴミ削減のためにはひとりひとりの意識改革が大切です。そして地域と行政が協力して取り組んでいければと思います。



ボラ連 視察研修

美和台公民館に行ってきました。

「NPO法人循環生活研究所」による ダンボールコンポスト

いきいき幸せ大刀洗の会 花等 順子

ボラ連の今年の活動テーマは、昨年に引き続き「環境について考えよう」で、ダンボールコンポストを使った生ゴミ減量に取り組んでいます。

10月11日、ダンボールコンポストの活用が盛んな福岡市東区的美和台公民館に行きました。美和台校区は、人口15,000人、世帯数6,000軒余りで、大刀洗町と同規模です。生ゴミを捨てずに家庭で堆肥をつくるダンボールコンポストの活用を町づくりの一環にしています。環境推進員を配置して活動し、実施家庭は200軒程度です。



何より感心したのは、一人暮らしや高齢者家庭を週一回程度定期的に手入れに伺う「見守りコンポスト」の実施です。50軒～60軒の登録だそうです。月500円で運用されています。環境と福祉をコラボして高齢者を見守る手法には大いに学ぶものがありました。

大刀洗町でも環境問題に感心を持つ人が増えて、ダンボールコンポストの利用者が一人でも増えゴミの減量化が進むことを願っています。



私の ボランティア 日記

ナレーションサークル風

時代の波に乗って私たちもデジタル化 宮崎 誠

「ナレーションサークル風」は、20年以上にわたって広報など町の情報誌を朗読し録音、CD化して視覚障がい者の皆さんにお届けしています。

最初は、カセットテープから、そしてCDに録音する時代を経て、ますますデジタル化の進化に後押しされ、今回タブレットを使った録音へ挑戦することになりました。

そして、私が説明者となりタブレットの講習会を始めましたが、頭と手先を使っての新しいチャレンジに慣れるのは大変でなかなかうまく行きませんが根気強くがんばっています。私の拙い説明を聞いていただいて感謝しています。

タブレットをうまく使いこなせるようになるには、もう少し時間がかかりそうです。視覚障がい者の方だけではなく、広く皆さんにも聴いていただきたいと思います。そして、私たちと一緒に朗読活動を楽しみませんか。



はりねずみの会 (布絵本づくり) が県知事より感謝状を受賞



代表の平城悦子さんにお話を伺いました。

「私たちの活動を認めてもらえてありがたいという気持ちです。布絵本は布の温かさが心地いいし、布絵本だからできる遊び方があります。毎回、子どもたちの反応が楽しみで作っています。ぜひ子どもさんと一緒にどんどんさわって遊んでください。『作ってみたいな』という方は気軽にのぞいてみてください。」

定例会：毎月第2・4火曜日 午前10時～
子育て支援センターちゃお

災害ボランティア 事前登録者募集

近年、大刀洗町でも台風や豪雨により毎年のように浸水被害が発生しています。そのため、大刀洗町ボランティアセンターでは、平常時より災害時の住民同士の助け合いとして、被災した方が早く元の生活に戻れるようお手伝いしてくれる方を募集しています。

どんな活動？

被災された方がご自宅で生活できるようにするためのお手伝いです。

例えば…

- ・家財道具の運び出し
- ・床下や家の周りの泥出し
- ・家屋の清掃
- ・ゴミの搬出 など



登録するには？

大刀洗町ボランティアセンターで事前登録をお願いします。

登録＝依頼があった時に必ず活動しなければならないわけではありません。

平常時は災害に関する研修会やボランティア活動の情報をお知らせします。

問合せ先：大刀洗町ボランティアセンター

大刀洗町大字富多819 ぬくもりの館大刀洗 (大刀洗町社会福祉協議会内)
TEL 0942-77-4877 FAX 0942-77-6220



編集後記

コロナが落ち着いてこのまま終息に向かっていけばと思います。寒さも厳しくなってインフルエンザも気になるころ、自分の身は自分で守りましょう。

スマイル



代表 福村宮生
福村千代美
田島孝三
宮崎誠
秋山裕美